

## 第2節 三峰川流域に生息するバッタ科

2022年から2025年の7月～11月までに三峰川流域の三峰川榛原河川公園付近、上伊那クリーンセンター付近で捕獲できた数を種別にまとめた。

表 三峰川流域における2地点の種別捕獲数

和名	三峰川榛原河川公園付近	上伊那クリーンセンター付近
調査回数(回)	16	18
コバネイナゴ	0	14
ショウリョウバッタ	4	144
ヒナバッタ	227	215
カワラバッタ	26	0
トノサマバッタ	3	0
クルマバッタモドキ	48	170
マダラバッタ	0	2

ヒナバッタやクルマバッタモドキが多く生息し、上伊那クリーンセンター付近はショウリョウバッタも多く生息している。しかし、竹松征治(1982)の調査で生息していたと報告があるツマグロバッタ、イナゴモドキ、クルマバッタ、ショウリョウバッタモドキ、ヒロバネヒナバッタ、タカネヒナバッタの生息を確認できなかった。



クルマバッタモドキ



カワラバッタ



マダラバッタ



トノサマバッタ